

○特定都市河川流域に指定している寝屋川流域では、河川管理者、下水道管理者や流域市等のあらゆる関係者が連携した総合治水対策として、河川改修、地下河川、下水道増補幹線、遊水地、流域調節池等の整備や流域貯留浸透事業等の流域対策を進めています。



淀川水系 寝屋川ブロック 流域治水管理図【ロードマップ】

～特定都市河川浸水被害対策法に基づく、流域治水の推進～

I 寝屋川ブロックでは、流域水害対策計画に基づき、府・市が一体となった「流域治水」を推進する。

【短期】 河川改修等の推進に加え、浸水想定区域等の指定を行う

【中期】 河川改修、地下河川、下水道増補幹線、流域調節池および雨水貯留施設整備の推進。

【中長期】 時間雨量50ミリ程度の降雨に対して浸水を防ぎ、かつ時間雨量65ミリに対して家屋床上浸水を発生させない対策を完了。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修、地下河川・下水道増補幹線の整備、遊水池・流域調節池の整備	大阪府		法善寺多目的遊水池(Aゾーン)の概成		布施公園調節池、加納元町調節池の概成
	河川改修、水門・鋼矢板護岸等の機能維持	大阪市				
	流域下水道の雨水ポンプ場施設等の排水施設の整備	大阪府・寝屋川市等				
	校庭貯留などの雨水貯留施設	流域市				
	ため池及び農業用施設等の治水活用	流域市・民間				
	雨水貯留浸透施設の整備	民間				
	砂防事業・治山事業の実施	大阪府				
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府・流域市				
	水害リスクの低い地域への居住誘導（立地適正化計画の策定等）	流域市		流域水害対策計画の変更(R8年度までに)		
	貯留機能保全区域、浸水被害防止区域等の指定（流域水害対策計画の変更）	大阪府・流域市				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・広域、市町村、地域タイムラインの策定・運用 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善 等	大阪府・流域市・民間・気象台		大阪市タイムラインの策定(R4)	洪水浸水想定区域指定拡大完了(R6年度)	雨水出水浸水想定区域図作成・公表(R7年度)
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府・流域市				区域の指定(R9年度)

※ 短期：5年、中期：10年、中長期：20～30年

淀川水系寝屋川ブロック 流域治水管理図【流域治水の具体的な取組】

～特定都市河川浸水被害対策法に基づく、流域治水の推進～

当面の治水目標に対応した河川の整備



約91%

※整備計画目標流量ベース

(令和4年度末時点)

農地・農業用施設の活用



2市

(令和4年度末時点)

流出抑制対策の実施



流域対応量400万㎡に対する進捗率

約34.5%

(令和4年度末時点)

山地の保水機能向上および土砂流木災害対策



治山対策 5箇所
土石流対策 9施設

(令和4年度実施)

立地適正化計画における防災指針の作成



3市

(令和4年度末時点)

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 27河川

雨水出水浸水想定区域 0団体

(令和4年度末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画 洪水 8173施設
土砂 188施設
高潮 3394施設

避難訓練 2070施設
※洪水・土砂・高潮の重複を含む

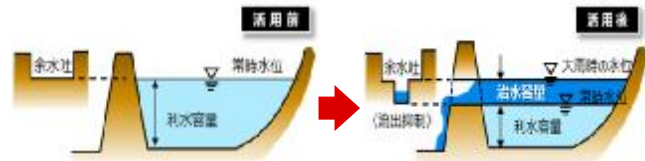
(令和4年9月末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ため池の治水活用（恩智惣池）



平成30年7月豪雨時に、恩智惣池下流部の大西川から溢水し、周辺の道路冠水が発生したことを受け、寝屋川流域総合治水対策の一環として、恩智惣池の治水活用の検討を行った。水利組合協力のもと、余水吐きに50cm四方の切り欠きを設け、常時水位を低下させることで、2,100㎡の貯留効果を発揮し、下流部の被害軽減に寄与している。



被害対象を減少させるための対策

枚方市の立地適正化計画策定の取組

枚方市では、令和4年3月に立地適正化計画を変更し、土砂災害特別警戒区域や洪水浸水想定区域の一部を居住誘導区域から除外するほか、災害リスクの高い地域を居住誘導区域に設定する場合は、防災指針を作成し、防災まちづくりの取組方針を定めている。



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

寝屋川流域大規模水害タイムラインの取組

寝屋川流域では、大阪府や流域市に加え、大阪管区気象台、警察、報道機関、鉄道、ライフライン事業者などの関係者ととも、「寝屋川流域大規模水害タイムライン」を策定した。タイムラインの運用に加え、情報伝達訓練やタイムラインのふりかえりを実施している。



寝屋川流域大規模水害タイムライン



タイムラインふりかえりWG